

# ご存知ですか? 「均等待遇」

## 同じ仕事で同じ賃金



世界の常識  
ヨーロッパではあ  
たりまえです

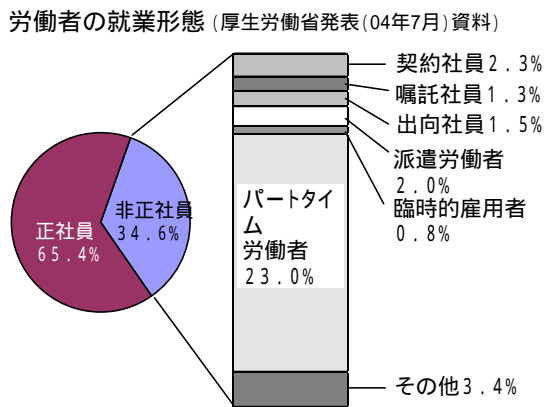
「正規社員のあの人とパートの私は同じような仕事をしているのに賃金は半分、納得いかない」って思っているあなた。本当にそうですね。ヨーロッパでは同じ仕事をすれば、時間当たりの賃金は社員も派遣労働者も同一賃金である「均等待遇」が常識です。

日本では同じ仕事でも賃金格差が広がっています

日本では同じ仕事でも、正規労働者と非正規労働者の賃金格差が広がっています。日本の雇用労働者の総数は約500万人。このうち非正規労働者は1500万人（総務省「労働力調査」と、雇用労働者の3割を超えています。非正規労働者の労働条件は、賃金だけでなく一時金や退職金、福利厚生など多くの不合理な差別があります。年収は200万円台で、正規労働者の半分から3分の1程度です。同じ仕事を

### 「不安定雇用」でコスト削減

政府と財界は雇用形態を一握りの正規雇用労働者とあとの圧倒的多数は企業の要請に応じて、雇入れたり、削減したりすることができる「雇用の流動化」政策を推進してきました。企業はグローバル経済下で生き残りをかけたりストラ「合理化」を大々的に推し進め、正規労働者を削減し、安く置き換えのきく労働力であるパートや派遣、委託、請負に切り替えてきました。2003年から04年の1年間で正規労働者が76万人減り、非正規雇用労働者が55万人増えています。



「均等待遇」実現に向けて  
「正規」も「非正規」もすべての労働者が人間らしく権利が尊重され働けるようにするために、労働法を改正しパートや臨時、派遣労働者などに「均等待遇」の枠組みを作ること。同時に職場のなかで一歩一歩、「均等待遇」に向けた労働条件の改善をはかることです。

しながら労働条件に大きな格差があることに不満が高まっています。

## 日立 懇

<発行> 2005年5月  
<茨城日立地区版>

日立関連労働者懇談会  
〒108-0073 東京都港区三田3-2-20  
(電機労働者懇談会気付)  
TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

## 結局は "人件費削減策!"

ハイコスでは、「転勤がいやな人は給料10%カット」という「勤務地限定制度」導入をめくつて怒りの声が続いてます。「転勤ノーマン」に対しては、10%もカットできる。イエスの人が転勤先で慣れない仕事で成果が上がらなければ、成果主義で給料を減らせる。「どっちにしる、給料を減らせると言っわけだ。ということ、なんのことはない」「人件費削減策」というわけか。」との会話。(日立ハイコス)

## 変則ゴールデン ウィークは"困る"

今年のゴールデンウィーク、(情制シ)は2日、3日が出勤日という異例の設定。特に3日は祭日ですが、この日を出勤日にしたのは、(情制シ)だけだったようです。「この2日間を計画年休にすれば10連休になるから」と、計画年休行使を積極的に勧める職場もあり、多くの所員が計画年休に。ところが、派遣で働いている多くの女性の場合は年休日数が少ないので、「お

盆のときの一斉年休だけで5日もなくなるのに、また2日も取ってしまったら自由に使える分がなくなってしまう」ということで、出勤せざるをえないということ。

(情制シ)

## メーデーの訴えが "政権交代"とは

4月29日に連合の日立地区メーデーが、日立駅前新都市広場で開催されました。連合茨城会長や民主党国会議員(3名)らが挨拶をしました。が、いずれも小泉自民党政治から民主党による政権交代を強調。一方で、今年行なわれる茨城県知事選挙では、自民党県政の「橋本知事の推薦を決定した」理由は、「橋本知事に代わる人物がいなし」との説明。参加者から「言っていることとやるが違う」「選挙の決起集会みたい」「JR福知山線の脱線事故の話がないのはどうしたことか」の声。(日立地区メーデー)



## 日立電鉄に "車両売却やめて"

日立電鉄線が三月末で廃線になった問題で、竹高校生徒会は3月28日まで、車両や設備、部品の売却を計画している日立電鉄にたいして「復活はありえないと言われているようだ」と抗議するとともに、県と日立、常陸太田の両市に「廃線による地域住民への影響や交通渋滞などの調査、鉄道部品の売却を再検討するよう日立電鉄に申し入れることなどを求めました。」



代替バス利用の生徒から聞き取った「到着時刻が予定より遅れる。朝、家を出る時刻が早くなった。バスは乗り心地が悪い。運賃が高くなった。土・日曜日の本数が少なく、最終バスが早すぎて不便。などの声を紹介し、「あらためて通学生の大変さが伝わってきた」とのべ、同線復活を求めています。

同校生徒会が事務局になっている「日立電鉄線の維持継続をもとめる高校生徒会連絡会」は「日立電鉄線の復活をもとめる高校生徒会連絡会」に名称を変更し、運動を続けていく方針です。(新聞「赤旗」報道より)